



イモノフだより

第 25 号 令和 8 年 1 月 1 日
西尾市鋳物工業協同組合

西尾の鋳物



○鈴木理事長新年のあいさつ

新年、あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、清々しい新春を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、旧年中も組合活動に対し、ご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

昨年はアメリカトランプ政権による「トランプ関税」に一喜一憂するよう振り回され、また後半何となく落ち着いたように思われましたが、新政権による台湾発言等で中国やロシア等の関係にしこりを残したままで新年を迎えることになりました。

ウクライナ問題、ガザ問題もまだまだ和平には程遠い世界情勢となっていますが、直近で懸念されるのは年々暑くなる地球温暖化によると考えられる影響で、世界的にカーボンニュートラルに向けた取り組みが一層要求される状況となっています。

日本においては、政府指針による賃上げ推奨による労務費の価格転嫁を中心に中小企業施策のバックアップもあり、業界としてもプラスの影響となるものの、円安による資材の高騰や相変わらずの人材不足が懸念材料として今年も我々には大きな課題として存在します。

そのような中、当組合では一昨年より青年部（青風会）会員を中心に、鋳物の体験講座や平坂小学校への出前授業を継続実施し、西尾市へのロビー活動も積極的に行い、地場産業「西尾の鋳物」を守って行くと考えます。

さて、今年の干支は「丙午（ひのえうま）」で、「情熱や勢いが高まり、新しいことへの挑戦や大きな飛躍が期待できる年」として、新しい時代の姿が見えてくる転換点ともいわれています。

業界としては本年度も楽観できる環境ではありませんが、少しでも皆様のお役に立てていただけるように行政を含め多方面からの施策情報等を配信していきますので、組合活動に積極的な参画をいただくと共に組合をうまく利用していただき、高市発言ではありませんが「馬車馬のごとく、働いて、働いて、働いて！」未来の姿を見つけられる一年とされますことを、ご祈念申し上げます。

理事長 鈴木英昭

○鑄造体験会を実施しました。

11月8日（土曜日）に西尾勤労会館にて3回に分け鑄造体験講座を開催しました。

受講者 53 人が組合員指導のもと、受講者が希望したマルチスプーン、レンコン箸置き、星座キーホルダーの本格的な鑄物のモノづくり体験をしてもらい、皆さんに楽しんでもらいました。また当日、中村西尾市長も見学に来られ鑄物づくりを知ってもらいました。



○青風会親睦ゴルフコンペを開催しました。

11月15日（土曜日）に吉良カントリークラブにて18人が参加し開催しました。

優勝 齋藤圭一朗氏

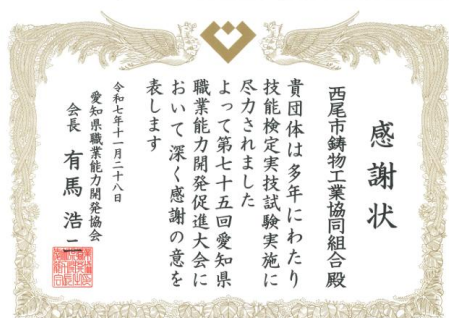
○安全衛生管理説明会を開催しました。

11月27日（木曜日）に岡崎労働基準監督署西尾支署の支署長浦本様及び労働基準監督官山口様より「鑄物業における労働災害防止策について」を組合員 33 名が参加し行いました。



○愛知県職業能力開発協会より感謝状を頂きました。

令和7年11月28日に愛知県職業能力開発協会より多年の技能検定試験実施に尽力してきたことに対し感謝状を頂きました。



○西尾市立平坂小学校5年生による鑄物工場見学会を開催しました。

11月28日（金曜日）に組合員の(株)尾崎鑄造所にて小学5年生3クラスを2班に分け、工場見学会を実施しました。



情報交換①生産量・稼働率の状況と今後の見通し②取引適正化について③再生可能エネ賦課金減免制度減免申請④人材に関して⑤組合の取組事例、困りごと、組合トピックス、代表者会で聞いたこと。⑥その他

12月16日、17日に平坂小学校5年生103名に対し3回に分け授業を実施、「西尾の鋳物」の歴史を説明し、その後に、組合員14人、利他工房（イナテック内）2人の指導のもと鋳物造り体験として平坂小学校の校章造りをしてもらいました。



12月18日（木曜日）に役員5人事務局1人計6人で中村健西尾市長に要望書をお渡ししました。同日、愛三時報社、三河新報社の取材を受けました。



是非観覧して頂きますようお願いいたします。

